

緑 化 通 信

2016
6月25日
(年7回25日発行)
第452号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL: <http://www.ueki.or.jp/>
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



第11回エクステリアエキジビション2016(略) 月22日、23日に東京ビッグ

第11回エクステリアエキジビション2016 —コンテナ部会がウェルカムガーデン設置—

第11回エクステリアエキジビション2016(略)が4月22日、23日に東京ビッグサイトにおいて開催された。EXE2016はエクステリアメーカーが一堂に会する専門フェアで、工務店やハウスメーカーなど関連業界から2日間、約15,000人の来場があった。コンテナ部会ではフェア会場の入口にウェルカムガーデン(1m×10m)を2ヶ所設置した。このフェアへの参加は初めての試みで、期間に余裕がなかったことから、コンテナ部会の広報・普及委員会が中心となり部会員の協力のもと見事なガーデンを展示することができた。ウェルカムガーデンに



グリーン販売コーナー(株中村農園・埼玉県)

また、会場内には(株中村農園)がグリーン販売コーナーを設け、樹木等の販売することにもコンテナ部会の協力のもと協力が成した「ぼっと見ガイド」も併せて販売しました。来場者からは、ウェルカムガーデンが高い評価を得ることも、「ぼっと見ガイド」にも興味をもたれるなど有意義なPR活動ができました。



協力: (一社)日本植木協会



みどりの感謝祭式典

「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国士緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催



式典における眞子内親王殿下

次に「みどりの文化賞」の顕彰が行われ、C・W・

「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国士緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催として東京・イノホールにおいて開催された。「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国士緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催として東京・イノホールでの開催となった。式典は、八王子森林パトロール隊による開会宣言で始まり、主催者を代表して農林水産副大臣の挨拶に続き、名誉総裁である秋篠宮眞子内親王殿下がお言葉を述べられた。

第二十六回森と花の祭典 「みどりの感謝祭」式典

名誉総裁秋篠宮眞子内親王殿下をお迎えして開催

「みどりの月間」に実施される各種緑化行事の締めくくりとして、健全な青少年の育成や地球温暖化防止、生物多様性に資する緑化運動の推進を目的とし

「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国士緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催として東京・イノホールでの開催となった。式典は、八王子森林パトロール隊による開会宣言で始まり、主催者を代表して農林水産副大臣の挨拶に続き、名誉総裁である秋篠宮眞子内親王殿下がお言葉を述べられた。

「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国士緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催として東京・イノホールでの開催となった。式典は、八王子森林パトロール隊による開会宣言で始まり、主催者を代表して農林水産副大臣の挨拶に続き、名誉総裁である秋篠宮眞子内親王殿下がお言葉を述べられた。

「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国士緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催として東京・イノホールでの開催となった。式典は、八王子森林パトロール隊による開会宣言で始まり、主催者を代表して農林水産副大臣の挨拶に続き、名誉総裁である秋篠宮眞子内親王殿下がお言葉を述べられた。

ニル氏と岩手県葛巻町のダブル受賞となった。C・W・ニル氏は、昭和55年に黒姫山麓に居を構え執筆活動をしながら昭和61年に黒姫山の荒れた里山を購入して「アフターの森」と名付けて手入れを行ってきた。今では多くの生物が生息する森に回復し、生物学のフィールドワークとエコツーリズムを学ぶ学生のための訓練場ともなっている。また、全国各地で講演等を通じて、森の大切さ等の普及啓発を積極的に展開していることも極めて高く評価され今回の受賞となった。岩手県葛巻町は、町の86%を占める森林の資源を生かし様々な手法で有効利用するとともに、山林が持つ機能を高める努力が続けられている。また、産業振興対策や定住対策など「地方創生」に果敢に挑戦しており、安心して住み続けることができる「全国の山村

のモデルとなるまちづくり」を目指すその実践が極めて高く評価され受賞となった。このあと、苗木と花の特別贈呈として、平成29年全国植樹祭開催地(富山県)代表の魚津花とみどりの少年団、平成28年度全国育樹祭開催地(京都府)代表の京都府弓削緑の少年団と花いっぱい運動代表の山口寿美子氏(山口県)に苗木と花が贈呈された。東日本大震災復興緑化苗木が岩手県葛巻町子抱山緑の少年団にも贈呈された。

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、

のモデルとなるまちづくり」を目指すその実践が極めて高く評価され受賞となった。このあと、苗木と花の特別贈呈として、平成29年全国植樹祭開催地(富山県)代表の魚津花とみどりの少年団、平成28年度全国育樹祭開催地(京都府)代表の京都府弓削緑の少年団と花いっぱい運動代表の山口寿美子氏(山口県)に苗木と花が贈呈された。東日本大震災復興緑化苗木が岩手県葛巻町子抱山緑の少年団にも贈呈された。

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、

その後、山火事予防ポスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、日野市立七生緑小学校合唱団による森と緑への賛歌「地球星歌」が披露された後、魚津花とみどりの少年団による「誓いのことば」があり、日本ボーイスカウト東京連盟、



みどりとふれあうフェスティバル風景



熊本地震の被災地への支援
4月に発生した熊本地震により、熊本支部の会員が大きな被害を受けたことから、5月21日に災害会長、秋山、阪上、船橋副会長及び九州ブロックの牛嶋理事が熊本を訪れ、豊岡ブロック長の案内により被害状況の調査を行うとともに、被害を受けた熊本支部会員の方々の一刻も早い復興を願い、協会からの義援金を後藤熊本支部長にお渡ししました。

シマトネリコ 30,000 株
タマリユウ 60,000 マット
直営農場で生産中

3.11 震災復興に向けて
シャリンバイ(15vp)
30,000 ポット



You Tube (ドローン撮影)

タマリユウジャパン



タマリユウ・シマトネリコ生産販売

タマリユウジャパン

タマリユウ定期便で
いつでも・どこへでもお届けします。

●ご注文はホームページ、
電話・FAX・メールでも承ります。

〒893-0013
鹿児島県鹿屋市札元2丁目 3727-2
TEL: 0994-44-6993
FAX: 0994-44-6996
URL: <http://www.tamaryu.jp/>
E-mail: net-shop@tamaryu.jp

連絡調整会議を開催

本会総務・企画委員会は、5月18日(水)13時から協会・会議室に於いて連絡調整会議を開催した。出席者は正・副会長、専務理事、部会担当理事、ブロック長、専門部会長(含青年部会長)及び事務局等24名。

会議は穴倉会長挨拶の後、会長が議長を務め議事を進めた。

会議では、各ブロック、部会から活動報告があり、意見・要望に対しては次のとおり。

1. ブロックの意見・要望

北海道・東北ブロック

東北の復興において、樹木が少なく物探しが困難となっている。また、樹木単価は積算資料や建設物価の単価がベースになっており、品不足や輸送コストの増加により単価の整合性がとれていない。東北での樹木の仕入れは関東圏が中心となっているが、卸業者へのオ

ータを公表してほしいとの要望があった。

この要望に対して、生産量調査の輸入は、原則として個人が行うことになっており、協会としては対応していないが、入力を行う業者の紹介は行っており、社

園が業者をお願いして行っている。また、データの公表については、会員からの要望も多くあることから公開の方向で検討していきたいと回答があった。

中部ブロック

生産数量調査の有効活用に向けて慎重に検討を重ねてほしい。会員の協会離れが減るような対策を考えてほしい。本協会も日本野鳥の会会員になったらどうかとの要望があった。この要望に対して、データの活用にあたっては、会員の意向を十分に把握して、活用に関するルールを定める必要がある。会員の減少は大きな問題と考えており、そのため業界内での認知度を高める取り組みを行うことも

に、会員相互の連携を密にして情報の共有を図っていくことも一つの手段と考える。日本野鳥の会の入会については活動状況を把握し、入会が有意義と考えられるようであれば検討したいと回答があった。

関西ブロック

協会の事業が多いように感じる。もっと簡素化して集中的に重要なことを行っていくか。また、事業によっては先の見通し(終着点)がわかりづらく協力体制をとりづらいものもある。協会の知名度をあげるためにもっとPRする必要があるのでないか。協会のHPの中にブロックのアプリができるようにならないかとの要望があった。この要望に対して、現在実施している事業についてビジョン検討委員会において検討したい。



編集・統合等の改革をすすめてほしいとの要望があった。この要望に対して、価格調査への協力は増えてきているが、更なる協力を願いたい。単価の目安表については作成して理事、ブロック長に渡し、こちから入手してほしい。データで必要な場合は協会からデータ送信することもできる。後継者対策は重要な課題であり方策について検討していく。準会員制度については過去の経緯を掌握し、必要であれば検討したい。ブロック・部会の在り方等については、ビジョン検討委員会において検討していきたいとの回答があった。

2. 部会の要望・意見

コンテナ部会

東京ビッグサイトで開催された、第11回エクステリアエキジビジョン2016の会場入口にウェルカムガーデンを設置した。今回の設置は時間的な余裕もないため、コンテナ部会が単独で設置したが、今後このような事業があった場合には協会事業として実施してほしい。

庭園樹部会

植木業界を取り巻く環境は、公園、街路樹等の緑化工事や個人庭園等の減少により植木も需要が減少している状況にある。地球温暖化防止や美しい景観環境を保つために樹木の果たす役割について関連6団体と連携して国等への要望・陳情等を積極的に行ってほしい。大径高級植木は中国等への輸出増大に伴い国内への供給力が低下している状況にあることから、協会生産者と呼び掛け生産・在庫調査を行い、高級植木の写真集を作成して関係者へ配布するための経費を補助してほしい。樹芸の文化を次世代へ継承するため、もの作りを担う若者の人材確保、技術・技能講習等による育成強化に向けた取り組みを図ってほしい。この要望に対して、陳情等については関連6団体と調整を図りたい。写真集の作成については経費を考慮するに厳しいものがあることから、当面、HPでの紹介を検討したい。管理講習会等を通じて生産者の技術向上を図っているが、参加者が少ない状況にあることから、各ブロックにおいても講習会等への参加を呼び掛けてほしいとの回答があった。

新樹種部会

カレンダーに代わる新樹種のPRツールとしてクリアファイルを作成することにしており、協会ロゴマークの使用をお願いしたい。また、試作品作成にあたって経費の一部を助成してほしい。この要望に対して、クリアファイル作成については協力していきたいが、今後の作成部数、経費及び

売上等について詳細な見積もりを明らかにしてほしいとの回答があった。また、海外視察研修会への参加者が少ないことから、協会としても積極的に参加していただきたいとの要望もあった。

青年部会

青年部員が減少している状況にある。今後の協会や業界を担う後継者育成と捉え、親会として入部を積極的に促してほしい。また、青年部への助成金を増額してほしいとの要望があった。この要望に対して、後継者の育成については重要な課題として捉えており、後継者の青年部への入部についてバックアップしていきたい。また助成金の増額については厳しいものがあるとの回答があった。

3. 平成29年度通常総会(高知県)について

加藤中国・四国ブロック長から、平成29年度通常総会について、ホテル日航高知を会場候補として準備を進めているとの報告があった。

4. その他

事務局から次の報告事項があった。

1) 林野庁へ申請した補助事業(苗木安定供給推進事業)については選定されなかった。

2) (公社)国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」(中央事業)に「緑育」を申請していく。

3) 平成28年度農業危害防止運動の実施に関する周知について。

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

第4回

人間の健康を守る“果樹の力”

NHK ラジオ番組「夏休み子ども科学電話相談」などでおなじみの田中修先生にご紹介いただく“果樹の力”。日々のくらしに取り入れて毎日を健やかに過ごして下さい。

オリーブ

甲南大学特別客員教授 田 中 修 氏



国連旗を飾る「平和の象徴」

オリーブはモクセイ科の植物で、原産地は地中海沿岸です。現在では、世界中で栽培され、「平和のシンボル」として、国連旗を飾る植物です。日本には明治時代に導入され、香川県の小豆島で栽培に成功しました。そのため、オリーブは、香川県の県花・県木に選ばれ、小豆島は、「日本のオリーブ栽培発祥の地」として、「オリーブの島」といわれます。

オリンピックのマラソンの勝者に与えられる冠は、オリーブでつくられたものです。これは、「健康と平和を司る」といわれ、「スポーツの神」とされるギリシャ神話の「ゼウス」のシンボルがオリーブだからです。月桂樹（ローレル）の冠とされていることもありますが、本来、月桂樹は、芸術と音楽を司る「芸術の神」といわれる、ゼウスの子である「アポロン」のシンボルです。

オリーブは雄株と雌株が別々ではなく、1本の木に咲く花には、オシベ、メシベがあります。ですから、1本の木が植えられていれば、タネができ実ができるはずですが、

ところが、多くの植物は自分の花粉を自分のメシベにつけて、タネ（子孫）をつくりたくないのです。もしそうしてタネをつくれれば自分がもっている性質がそのまま子孫に伝わります。ある病気に弱いという性質をもっていれば、一族郎党がその病気に弱くなります。そして、その病気が流行れば、全滅します。



オリーブの実

そのため、自分の花粉が自分のメシベについてもタネや実をつくらせない植物があります。この性質は、「自家不和合性」といわれます。

オリーブの品種では、自家不和合性の程度に差があります。この性質が強い場合には、1本では実をつけないので、異なる品種の木をもう1本植えておかねばなりません。この性質が弱いと、自分の花粉で実をつけることもあります。それでも、多くの実をつけさせたい場合には、2本植えなければなりません。もちろん、偶然、近くにほかの品種が植わっていると、その花粉で実がなることがあります。

地中海沿岸では、「不老長寿の秘薬」

5月から6月にかけて、多くの小さな白い花が房のようになって咲き、実がなります。濃い緑色の実は、秋に向かって、黄色みを帯び、薄紫色を経て、やがて、赤黒くなります。

この実には、「若返りのビタミン」といわれるビタミンEが多く含まれており、オリーブ・ポリフェノールとともに、からだの老化を防いでくれます。また、豊富なオレイン酸が、悪玉コレステロールを減らし、腸の便をやわらげ便秘を予防します。鉄分やカルシウムなどのミネラルも多く含まれており、健康を促します。そのため、香辛料とともに野菜や果実を酢漬けにした欧米風の漬物であるピクルスでは、キュウリがよく知られていますが、オリーブの実もよく使われる素材の一つとなっています。

果肉を搾って得られるオリーブオイルには、実と同じように、ビタミンEやオリーブ・ポリフェノール、オレイン酸が豊富に含まれており、老化や動脈硬化の予防に役立つといわれます。そのため、原産地である地中海沿岸では、オリーブオイルは「不老長寿の秘薬」とよばれています。サラダなどにかけておいしいので、かけ過ぎがちになりますが、油なので過剰になることには気をつけねばなりません。でも、適度に摂取することは、健康に貢献するはずですが、

「オリーブの島」である小豆島では、実からオリーブオイルを搾りきったかすは、ウシやブタ、ハマチの飼料として使われます。育ったウシやブタ、ハマチは「オリーブ牛」「オリーブ豚」「オリーブハマチ」として人気の特産物となっています。



オリーブの花



協会会員 原島園の園場にて
樹齢250年



オランダの農場視察風景

熊本・大分地震で被災された会員の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。日頃より新樹種部会の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。今回は、新樹種部会が日頃行っている活動についてご紹介させて頂きます。まず、外部に新樹種をPRする活動として設計・施工・コンサルタント・メディアなどの業界関係者を集め「新しい造園樹木の研修会」と題して研修会を行ってまいります。今年で14回目を迎え、神奈川県横浜と相模原方面の視察を予定しております。この研修会は大変好評で、昨年行われた東京都立川方面の研修では80名の参加者を募集したところ、すぐに定員になってしまっただけでした。参加者には、実際に植物を見て触れて親しんで頂きました。この研修会活動は、今後の新樹種の普及に繋がってきたいと考えております。また、部会内の研修と致しましては、ドイツ・オランダ方面への海外研修を昨年行いました。参加者は、18名と若干少ない感じでしたが、ドイツの大型ガーデンセンターやオランダのヨーロッパ最大の「プランタリウム見本市」の視察やボスコープの農園視察などを行いました。会員の中には新樹種の導入や輸入の手配などを行

部会だより・新樹種部会 「新樹種部会の活動について」

新樹種部会 部長 森 川 雅 広 氏
(森川園芸・千葉県)

っている方もおり、大変有意義な研修とご意見も頂きました。

10月には、「関西の新しい植物」と題して㈱ユニバーサル園芸社、㈱花宇、國樹園様を視察させて頂きました。(㈱花宇では、プランツハンターとして有名な西畠清順氏の案内で、オリーブの大径木や世界中から集められた大変珍しい多くの植物を見せて頂き、参加者の皆様にも大変喜んで頂きました。

新樹種部会では、環境省主催「みどり香るまちづくり企画コンテスト」での副賞樹木の納入業務を行っております。コンテストの審査員でもある東京農業大学名誉教授 近藤三雄先生から、コンテストの参加者の参考書になるような香りの植物のガイドブックを出版したいというお話を頂きました。部会では、その編集協力を行うこととなり「香り植物の緑化デザイン」を平成27年8月に発刊致しました。このガイドブックには、新樹種を含む200種以上の有用な香りの植物が掲載されておりまして皆様にのご案内させて頂きたいと思っております。

また、新しい事業として新樹種の写真入りクリアファイル企画し、サンプル版の制作を始めました。これは新樹種部会が企画・制作しておりますしたカレンダーに変わる事業として新樹種のPRをするためのもので、今後カレンダー同様に協会の皆様にご利用して頂けたらと思います企画しており、6月にはサンプル版の3種類のクリアファイルが出来上がります。皆様のご意見やご感想をお待ちしておりますので、今後とも部会活動にご協力をお願い致します。



(裏表紙①)



(裏表紙②)



(裏表紙③)



(透明な表紙)

2016年版 クリアファイル

学校紹介

未来の業界を担う若者たち

岩手県立花巻農業高等学校 環境科学科

環境科学科の概要

本校は明治40年に創立、本年度で110年を迎えた。宮沢賢治がかつて教鞭を執った学校としても知られ、その精神を今も受け継いでいる。環境科学科は、昭和40年に前身である園芸科が設置され、その後様々な変遷をたどり、平成15年に環境科学科緑化コースとして設置、さらに平成25年より環境科学科緑化系となり現在に至っている。

特色のある活動

(1) 地域ボランティアの実施

2年生が地元中学校へ出向き、日頃授業で学習した知識や技術を生かし、校舎前庭の樹木および敷地周辺の植栽木の刈り込み等を行っている。中学校の方からも褒めの言葉を頂き、生徒達もとてもやりがいを感じている実習である。

(2) 3級造園技能検定に向けての取り組み

緑化系3年全員が受検し、授業時間だけでなく放課後や休日も一生懸命練習に取り組み、昨年まで7年連続全員合格を果たしている。造園関連企業に進む生徒はもちろんのこと他の企業で働く生徒にとっても忍耐力や精神力などを身につけることができる。



〈3級造園技能検定受検風景〉

(3) インターシップの推進

毎年2年生が8月に3日間、地元造園業者や森林組合・生花店において職場体験実習を行っている。(昨年度は9事業所) 職人としての心構えや、社会の厳しさ、やりがいなどを学ぶ機会となっている。

(4) 正月用門松の贈呈

2・3年生が12月に正月用門松を作成し、東日本大震災で被害を受けた沿岸部に寄贈している。「縁起物」を贈呈することにより、沿岸の皆さんに明るく元気づけたいという思いが込められている。



〈中学校出前剪定実習の様子〉



〈インターンシップの様子〉



〈卒業庭園完成時校舎前で〉

(5) 卒業庭園の制作

3年生全員で3年間学んできた知識や技術の集大成ともいべき卒業庭園の制作に取り組んでいる。初めて計画・設計・積算・測量・施工と一連の流れで庭園を作成し、文化祭前に完成、来校者の皆さんにも見て頂き大変好評であった。

まとめ

専門学習で身につけたことは、単なる資格や技術・知識ばかりでなく、もの作りの大変さを実感し、完成したときの感動を味わうとともに、勤労精神や社会性などを身につけることができる。地域社会や産業現場で活躍できる人材の育成を目指し、生徒とともに頑張っていきたいと思う。

(環境科学科教諭 河野 裕氏)



〈釜石市役所へ門松贈呈時の様子〉

ウエキノミライ

本業界の歴史、変遷について叡智を持ったキーパーソンの言葉から、未来を切り開く手がかりを探ります。

「ツツジ、サツキの魅力、再発見」

東京農業大学 地域環境科学部 准教授 大出 英子氏

「今さらのツツジ、サツキ？」

大学に勤めていると、「何の研究をしているのですか？」とよく訊かれます。そこで、ツツジ類、特にサツキをテーマにしていると答えると、もっと難しそうな研究のテーマを、あるいはもっと華々しい花の名を期待されていたのかもしれませんが、よく意外そうな反応が返ってきます。中には、「今さら、ツツジ、サツキですか？」とおっしゃる方もいらっしゃいます。私自身、「ツツジ、サツキがテーマ」というようになったのはここ数年のことで、それまでは、ガーデニングや宿根草などと答えていたのですから、仕方がないですね。

私は、栃木県都賀町(現在は栃木市)の、サツキ育種家の父、園芸家の母のもとに生まれ、花に囲まれて育ちました。昭和40年代生まれの私は、その頃のサツキブームも経験し、幼い記憶ながらも、サツキ展示会の異常な人混みや、我が家の農場を入れ代わり立ち代わり訪れる人々の多さ、中には外国からのお客様もいらして、何か普通ではない特別なことが起こっている感じがしたことが、今も残っています。また、父が育種していたサツキは新しい品種(新花)ですので、幹や樹形を見せる古木の盆栽のような作りではなく、子供の目には、まるで花で覆われた樹水のような形の、花のお化けに見え、ひとつひとつの花は美しいと思えても、全体を見て美しいとは思いませんでした。また、きれいに刈り込まれたツツジやサツキの刈込みも、子供の私にとってはきれいなものではなく、異様な形のものに見えていました。三つ子の魂でしょうか、その感覚は、おとなになるまで続きました。



エクスパリーガーデン(イギリス)

「イギリスで目にしたツツジの植栽」

ロンドンオリンピックのあった年の2012年、思いもかけず5月のイギリスを訪れる機会を得ました。1990年以降、イ

◆プロフィール

栃木県都賀町(現・栃木市)生まれ。東京農業大学農学科卒業後、英国王立園芸協会、(株)タキイ種苗、東京農業大学大学院(造園学修士)、(株)大林組などで、幅広く植物に関わった後、目白大学短期大学部准教授を経て、現在は、東京農業大学グリーンアカデミー主任講師(地域環境科学部准教授)。老人ホームなどでのガーデニング教室講師としても園芸普及活動中。「ベス・チャトー 奇跡の庭」(清流出版)、「はじめてでもできる庭木・花木の育て方と手入れ」(大泉書店)などを監修。

ギリスには数年に一度訪れるようにしてはいたのですが、春の5月頃は休みを取るのが難しく、訪れるのはいつも8月か9月。春のイギリスのガーデンを回るのは、二十年近くぶりでした。イギリスの5月という季節は、バラ科の果樹やサクラはほぼ咲き終わり、バラの季節には少し早い、という時期。シャクナゲやツツジが見られるだろうと予想しては行ったのですが、訪れるガーデンのほぼすべてで、予想以上の数と面積のツツジの植栽を目にし、驚きました。数や面積の多さだけでなく、シャクナゲやモミジなどの他の植物と組み合わせた使い方や見せ方も驚きでした。よく考えてみれば、樹全体を葉が見えないほど多くの鮮やかな色の花で覆う植物は、意外と少ないのです。しかも、ツツジはバラのような病虫害の心配や難しい剪定もなく、手間もかかりません。二十年前にはこれほど多くのツツジが咲いていた記憶はなく、しかも、イギリス王立園芸協会ウィズリーガーデンで目にしたツツジの中には、私が二十数年前に、後のガーデンの様子を想像もせずに植え込んだものがありました。その時の私は、将来の様子を想像もせずに単なる作業としてしか植えていませんでした。日本を代表する植物のひとつであるツツジを、日本人でなくイギリス人がこのように上手に使っている、それに比べ、日本ではツツジの植栽がどんどん減っている、なぜイギリスでできて日本でできないのか、と、悔しく思いました。

情けないことに、私の中のツツジのお化けは、イギリスでのツツジの使い方を目にしたときにやっと消えてくれました。そして、生まれた時から現在まで絶え間なくかわり続けてきたツツジ、サツキについて、胸を張って「ツツジ、サツキを研究のテーマにしたい」と言えるようになりました。「今さら、ツツジ、サツキ？」などという人が減り、もっと庭に植える人が増えるように、これからもこの植物とかかわっていきたくと思っています。

(私にとってサツキは特別なツツジなので、あえて「ツツジ、サツキ」と併記させていただきます。)



リッチモンド公園内イザベラプランテーション(ロンドン・イギリス)



リレー連載 うえきのちから ～植木が届ける宝物～

今求められる緑(植木)のちから、業界一丸となった発信！

株式会社 庭樹園 代表取締役 とう うち だだし 氏 當 内 匡 氏

◆プロフィール

1967年大阪府生まれ。千葉大学園芸学部を卒業後、荒木造園設計で荒木芳邦氏に師事。その後、渡米しルイジアナ州立大学ランドスケープアーキテクチャ学科大学院にてランドスケープを学ぶ。2010年より株式会社庭樹園代表取締役。日造協近畿総支部地域リーダーズ代表となったことをきっかけに、業界活動を幅広く積極的に行うようになる。特に街路樹については専門技術者の指導育成や海外の管理システムの調査などをライフワークとして行っている。大阪みどりのまちづくり賞審査委員。

私は大阪にある造園会社の5代目です。先代が業界活動を熱心に行っていた影響もあり、私も10年くらい前から業界活動に深く関わるようになり、現在は、日本造園建設業協会の支部技術委員として街路樹剪定士などの資格の研修指導、近畿総支部の地域リーダーとして若手経営者・幹部の研修や交流の場づくりなどに携わっております。また造園学会や樹木医関係、一造会などでもお声がかかれば、積極的に関わるように心がけています。

様々な業界活動をしている中で、一番危惧していることは、次世代の担い手である若者が少ないことです。一昨年度「担い手3法」ができ、単価の引き上げなど、対策の基礎は作られました。しかし業界に若者が戻ってくるには、まだまだ基盤が不安定であり、社会により必要とされる魅力ある業界にしていくことが重要であると思います。

地球環境問題の改善、ヒートアイランド現象の抑止、生物多様性の必要性など状況的には、“緑のちから”が大変重要であるのは間違いのないことです。その緑を扱っている訳ですから、この業界は魅力に溢れているはずです。我々は一丸となって緑のちからや価値、業界の魅力をもっともっと社会にPRしていく必要があるように思います。

最近、留学経験を買われ、日造協国際委員会にも呼んで頂き、AIPH（国際園芸家協会）の総会などにも参加させて頂いております。そこで海外の業界の話を聞いたり、インターネットで調べたりしている中で思うことは、業界の合併や連携の視点が必要ではないかということです。

カナダでは造園の施工業界と生産業界が一体となり、Canadian Nursery Landscape Associationを組織しており、会員は3,800を超えます。またアメリカでも数年前に施工と生産業界が合併して、会員数約4,000のNational Association of Landscape Professionalsをつくっています。

また別々の団体であっても、うまく連携して一丸となって活動している事例がオーストラリアの2020Visionというプロジェクトです。これは2020年までに、オーストラリアの都市の緑を20%増やそうというものです。生産業者が主体となった団体 Australian Nursery and Garden Industry が中心となり、みどり関係団体に広く声をかけ、300以上の団体や企業などがパートナーとなっています。コンサルや大学などの先生方ともパートナーシップを結び、PRの為に講師陣として協力してもらっています。バラエティに富んだ優れたプロジェクトを紹介しながら、各地で活動を展開するなど、その内容には見習うべき部分がたくさんあるように思います。

日本の造園業界には、いろいろな団体がありますが、連動することが少なく、業界としての力や動きが分散し弱くなっているのではないのでしょうか。“緑（植木）のちから”を業界が一致団結して社会に発信し、環境を守りそだてる重要な業界として社会的な地位の底上げを行い、次世代の担う若者が集まる輝かしい業界となることを願い、自分にできる事は何か、模索する日々です。



カナダの造園団体 Canadian Nursery Landscape Association
会員数3,800。（クボタが広告を出しており、会員への割引制度などを設けている）



アメリカの造園団体 National Association Of Landscape Professionals
会員メリットを重視し、経営サポートなどを積極的に行っている。会員数4,000。



オーストラリアの緑化推進プロジェクト2020VISIONのホームページ。
パートナーの企業団体のロゴが並ぶ。ホームページでもサポーター募集。

香り…雑感。 第5回 ～カロライナジャスミンの錯覚～

たる さわ だだし 氏 足 澤 匡 氏（小岩井農牧(株)・岩手県）

「カロライナジャスミン：Gelsemium sempervirens」、誰が名付けたか知らないが、とても良い響きの名前だとは思いませんか？ この花の画像を見ているだけで、甘く魅惑的な香りに包まれるような錯覚に襲われます。そう、「錯覚」…、「錯覚」なのです。香りのいい「ジャスミン」はモクセイ科ソケイ属（Jasminum）の総称で、「カロライナジャスミン」はマチン科（または、ゲルセミウム科）ゲルセミウム属（Gelsemium）、「ジャスミン」という名前が付けられているのですが、ジャスミンの仲間ではなく、香りもほとんどありません。ただ花の形はよく似ていますので、その名前が付けられたのだと思い



香りにむせかえりそうな錯覚…
カロライナジャスミン



モッコウバラ八重咲



キモッコウバラ八重咲

どちらも八重咲種ですが、白花種には香りがあります。

ます。また、鮮やかな黄色もなぜか香りを連想します。花のイメージ、先入観で、なぜか香りまで感じてしまうのは、とても興味深い錯覚ですね。

また、香りの有無で面白い話は、「モッコウバラ」です。基本種である白花の「モッコウバラ：Rosa banksiae」は俗にいうバラの香りが強いのですが、なぜか黄花の「キモッコウバラ：Rosa banksiae 'Lutea」は香りがほとんどしません。理由は分かりませんが、興味深いですね。機会がありましたら、香りを比べてみて下さい。ちなみに、「モッコウバラ」の画像は、どちらも八重咲種ですが、基本種である一重咲種と同様、白花には香りがあります…。

植物には解らないことばかりですね。そう、だから興味が尽きなくて、とても楽しいのです。

薬用植物のすすめ その4

薬効がある緑化植物(木本)

株式会社常磐植物化学研究所 資源開発部長
柴田 忠裕氏



普段緑化樹として扱っている木本植物の中に、薬効ある成分を持つものがある。うまく組み合わせると、観賞しつつ実用性も得ることができる。ただし、利用に当たっては、個人で処方せず薬剤師に相談すること。

サンシュユ: 生薬名は山茱萸(さんしゅゆ)。

中国、朝鮮原産のミズキ科の落葉小高木で、わが国へは江戸時代享保年間に薬用植物として渡来した。現在は春を告げる早春の花木として庭園に植栽される。早春、葉に先立ち小枝の先に黄色の小花を散形状につける。秋に楕円形の偽果が赤黒く熟し、生食すると甘酸っぱい。薬用部位は赤黒色に着色した偽果の果肉で、煎液は酸味が強いが飲みやすい。滋養強壮、収斂薬として、陰萎、遺精、頻尿に用いる。また、焼酎に漬けたものは、山茱萸酒とされ、強壮、強請薬として飲用される。漢方の八味地黄丸(はちみじおうがん)に処方され、糖尿病、動脈硬化、前立腺肥大などに有効とされている。



サンシュユの果実

サンショウ: 生薬名は山椒(さんしょう)。中国からわが国にかけての山林に分布するミカン科の落葉低木で、雌雄異株。枝には鋭い棘がある。葉は特有の香りがあり、アゲハ蝶が好んで食する。春に黄緑色の小花を多数つけ、秋に表面がざらついた果実が赤熟する。薬用部位は成熟した果実の種子を取り除いた果皮で、噛むと舌が麻痺する。煎液は香りが強く辛くて渋い。健胃、整腸、駆虫作用があり、腸の動きを改善し排便を促す。棘が無いか少ない品種にアサクラザンショウがあり、民間ではこちらの植栽が多



サンシュユの花

い。サンショウの葉を載せた冷奴は夏の暑さを忘れさせてくれる。

スイカズラ: 生薬名は部位により金銀花(きんぎんか)と忍冬(にんどう)。全国の日当たりが良い平地や山林に分布するスイカズラ科の常緑蔓性植物で、他の物に絡みつき登攀する。蔓は乾かしてフラワーアレンジのリース台輪等に使われる。梅雨期頃、葉腋に先端が唇形で筒状の白花をつける。花の上唇は浅く4から5裂し、甘い芳香を放つ。花は後に黄色に変色する。金銀花の薬用部位は黄色の蕾で、煎液は強い苦みがあり、飲みにくい。利尿、解毒、殺菌作用があり、咽頭部や下腹部、皮膚などの炎症を抑える。忍冬(にんどう)の薬用部位は葉で、煎液はやや苦みと香りがあるが、飲みにくい。利尿、解熱作用があり、おもに皮膚疾患に使われる。民間では乾燥した葉を忍冬茶としたり、花を酒につけて忍冬酒とし、毒消しの妙薬として使われた。



サンショウの果実



スイカズラの花

タチバナ: 生薬名は橘皮(きっぴ)。三重県以西の海岸に近い山林にまれに自生するミカン科の常緑中低木で、枝は緑色で密生し若い幹には棘がある。葉は濃緑色で固く、楕円形で光沢がある。果実の表面は滑らかで径3cmほど、酸味が強く生食用には向かない。薬用部位は成熟した果実の果皮で、煎液は苦味が少ないが、陳皮より芳香が強い。健胃、鎮嘔、鎮咳、去痰作用がある。



チャの花

チャ: 生薬名は茶葉(ちゃよう)。ツバキ科の常緑低木で、わが国では静岡県、鹿児島県を中心に全国的に栽培される。葉の煎液は苦い茶。利尿、強心、鎮痛、止瀉作用があり、感冒由来の頭痛に用いる。

地方かわら版

千葉県の現状

千葉県支部長 黒田 剛氏
(農事組合法人成田ナーセリー・千葉県)

熊本・大分地震で被災された会員の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

千葉県は、植木の一大消費地である首都圏に属し、生産地でもあり消費地でもある。そのような恵まれた立地条件と温暖な気候の中、高木・中木・低木・コンテナ樹木・グラウンドカバープランツまで多岐に亘った生産が行われております。

生産主体、流通主体、生産と流通とその経営も千差万別です。

昨今の現状を、支部会員からくみ取って報告させていただきます。

まず、生産の現状として、路地樹木においては、生産量の減少が見られる。生産者の高齢化やその生産に掛かる経費等を踏まえると見合った価格に至らない現実があり、高木の生産継続が難しくなってきた。苗木の作付状況を見ても見通しは厳しい。

そんな中でも、3mクラスの高木や生垣用樹、陰陽樹の需要が多いが、生産が間に合っていない、使用樹種の偏りが見受けられるためと思われる。

需要としての公共向けは、当たり前がありそれを当て込んだ大量生産には踏み込めない。民間向けは、需要の多い品種の少量多品種の対応になっている。

生産者が、農場の規模、販路、経営形態に合った生産方法、生産品目を模索しているようである。

グラウンドカバープランツにおいても、需要と供給のバランスが崩れている様子が目撃される。地域性もあるかもしれないが、定番と言われてきた材料が残る様になって来ている。ハ

イビクシン類、ササ類、ヘデラ類の低迷が見られる、それぞれの生産量も減っている。それを補うだけの他の品種が見当たらない。生産現場では、見込み生産なので、ある程度の生産量は確保しておかなければならないシレンマがある。一方で、裾が広が

り、裾が広がっている。さらに、都市緑化において、壁面緑化工事が今のところ順調に増える傾向にあり、長尺つる植物の需要が増えていると強く実感している。このよう



コンテナ樹木圃場

している。このようにことから、設計、コンサルなどの情報の共有や各々の情報の受発信が重要であると言える。

県内での流通の現状であるが、生産量が減っていることと注文内容が細かく小ロット化し、さらに仕入れルートが広範囲となり、忙しい割には利益が伴わなくなっている。この現状から価格上昇はやむをえない中、まとまった案件ではより安い事例もあり、厳しい状況が続いている。昨今の動きでは、公共事業の件数が少なくなり、民間工事の占める割合が多くなっている、その内容は幅広く、アパート、マンション、戸建住宅、コンビニエンスストア、商業施設、老人介護施設などである。このことから、千葉県は、生産地でもあり、さらに、消費地としての立地条件、生産地としての立地条件、県内外への流通の現状を踏まえると一定の生産量を継



長尺ヘデラ・カナリエンシス

続させていかなければならない。千葉県では、輸出も盛んに行われている。中国向けが特に盛んであり、マキ、ツバキなどが主たる品種である。輸出のシーズンは10月から5月までで、これらの季節は次への仕立ての時期となる。見合った商品の仕立てが重要である。

今後の展望としては、生産者の高齢化、後継者不足が相まって、植木生産量の更なる減少の懸念、需要の減少、悪いバランスにある。短期的には、震災復興、2020年東京オリンピックに関する需要が期待されることだが、品薄の現状からするとこれらへの供給が賄えるのかという不安はある。ある程度の安定した供給、生産を生むにはタイムリーな情報の共有化をしていかなければならない。その後は、不透明だが、付加価値のある商品づくりを意識し、既存の物に固執しないで「個」の部分を持つことも重要である。

お知らせ

平成28年度 都道府県別供給可能量調査 開始案内

協会事業である、都道府県別供給可能量調査を下記日程で実施します。
全支部の提出へ向けご協力お願いします。

調査期間：平成28年7月1日～7月31日

※6月下旬、入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部IT委員にお送りいたします。
※調査結果は官公庁及び造園関係団体にCD配布、協会のホームページで公開します。
材料調達時の参考にさせていただいています。

平成28年度 社園別生産数量調査 開始案内

協会事業である社園別生産数量調査を下記日程で実施します。
全社園様の協力をお願いいたします。

調査期間：平成28年6月25日～7月31日

①協会ホームページ・会員ページにログインしIDとパスワード入力し社園別生産数量調査入力用システムをダウンロードします。
②データ入力します。
③データ入力完了後アップロード送信します。
※詳細については、別紙「入力マニュアル」を同封しますのでご確認ください。
社園IDとパスワードを6月25日(土)FAXいたします。

地域性植物適用委員会 第8回勉強会 講演会開催のご案内

第8回勉強会を植生調査委員会、コンテナ部会の合同で開催いたします。
勉強会には、林野庁森林整備部整備課造林間伐対策室室長 吉村 洋 氏をお招きし、ご講演をいただき、林野庁と生産者の立場から情報交換を行います。

記
1. 日 時：平成28年7月14日(木) 13時～15時15分(受付 12時30分～)
2. 場 所：(一社)全国燃料会館 会議室 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目12-15 TEL 03-3541-5711 FAX 03-3541-5715
3. 講 演：林野庁森林整備部整備課造林間伐対策室 室長 吉村 洋 様 演題 (仮)「植苗生産の現状と課題」
4. 定 員：50名(先着順定員なり次第締め切ります)
5. 会 費：3,000円(当日会場にて集金) ※講演会終了後、意見交換会(別途3,000円予定、当日集金)を予定していますのでご参加下さい。
6. 締切日：6月30日(木)

庭園樹部会 平成28年度通常総会及び研修会開催のご案内

1. 日時 平成28年9月15日(木) 15時30分から
2. 場所 岡山県岡山市 メルパルク岡山 「錦の間」(岡山県岡山市北区桑田町1-13) TEL 086-223-8101
3. 通常総会 通常総会 15時30分から 意見交換会 18時00分から
4. 翌日視察 平成28年9月16日(金) 8時30分から15時ごろ予定 岡山近隣で視察予定
5. 締切り 8月22日(月) 後日、ご案内申し上げます。

「緑化樹木識別検定実施」のお知らせ

環境緑化樹木識別検定はみどり豊かな環境形成に重要な樹木100種類の名前を正しく識別する検定です。造園等に携わる方はもとより多くの方が樹木の識別知識を習得することで緑豊かな環境を増やすことつながります。
試 験 日 平成28年7月9日(土) 13時00分～
試験会場 東京農業大学世田谷校舎
受 験 料 一般 8,000円 学生 4,000円
申込締切 平成28年6月30日(木)まで

植生調査野外トレーニング講座 開催のお知らせ

植生調査委員会は、東京農業大学教授中村幸人先生、鈴木伸一先生と地元の國忠征美氏を講師に迎え、植生調査野外トレーニング講座を開催いたします。
植物の生態や植生に興味のある方、植生管理士試験受験予定者及び植生管理士の方のご参加をお願いいたします。

記
1. 日 時：平成28年7月22日(金)～24日(日) (2泊3日)
2. 集合場所：岡山県 ①JR岡山駅西口 ②岡山空港
3. 集合時間：①11時30分 ②12時30分
4. 研修地域：岡山県内各地
5. (募集人員について)：25名(先着順)
6. (参加費用について)現地での移動、食事、宿泊費 参加 36,000円/1名 (現地までの往復の旅費は含みません)
7. 宿泊施設 22日 上齋原温泉 国民宿舎いつき 23日 真庭リバーサイドホテル(真庭市内)
8. 服装・道具は、参加者に後日連絡します。
9. 参加申し込み 平成28年6月30日(木)までに、申込用紙はホームページより印刷し、必要事項をご記入の上事務局宛 FAX (03-3586-7577)にお送り下さい。ただし定員25人に達し次第、締め切らせていただきます。

フラワートライアルジャパン2016秋

同展示会は、もともと長野・山梨県の八ヶ岳南西麓で、種苗会社各社が単独で開催していた展示商談会がひとつになったもので、今年で9年目を迎えます。年々規模を拡大し、昨年は95社が出展、来場者は全体で約2,400人にのぼりました。
2016年度はさらに内容を充実し、園芸関係者に限らず、造園・エクステリア・緑化・農業など幅広い業界から注目が高まっています。
会 期：2016年9月27日(火)～29日(木)
開催時間：初 日 9：00～16：00 2日目 9：00～17：00 3日目 9：00～15：00
会 場：全7会場(※2016年4月12日時点) ①茅野市民館(長野県茅野市塚原1丁目1番1号) ②H&L プランテーション八ヶ岳農場(長野県諏訪郡富士見町立沢2122-1) ③M&B Flora(山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3181) ④(株)ゲブラナガトヨ 八ヶ岳ファクトリー(長野県諏訪郡富士見町乙事4814) ⑤ネオオリエントアルリゾート八ヶ岳高原(サントリーフラワーズ)(山梨県北杜市大泉町谷戸8741) ⑥西垣園芸 富士見農場(長野県諏訪郡富士見町富士見7679-1) ⑦ハクサングループ 本多園芸農場(長野県諏訪郡原村18098番地2)
出 展 社：植物生産者・種苗会社・問屋・園芸資材メーカー(肥料・用土・鉢・薬剤・農具など)ほか
主 催：フラワートライアルジャパン2016秋 実行委員会
後 援：農林水産省、長野県、山梨県、(公社)日本家庭園芸普及協会、(一財)日本花普及センター

◎来場に関するお問い合わせ：フラワートライアル実行委員会事務局(株)グリーン情報内) TEL：052-571-2200 メール info@green-joho.jp ◎来場者登録について：来場は無料ですが、事前に登録が必要になります。来場者受付を7月1日からグリーン情報ホームページ上で開始します。フラワートライアル来場受付ページ http://www.green-joho.jp/trial/

名木認定申請募集

芸術性の高い名木の認定事業を、中国・四国ブロックを対象として募集いたします。
自薦、他薦を問いませんので、一本でも多く申請いただき、地域に埋もれた名品を発掘すると共に、地域振興の資とされますよう、ご案内いたします。

記
1. 募集地域 中国・四国ブロック
2. 募集締切 平成28年6月30日(木)必着
3. 提出資料 1) 名木認定申請書 2) 樹木の特徴を明確にした写真 (サービスサイズで3～4枚)
4. 費 用 1) 第一次審査費(書類審査) 0円 2) 第二次審査費(現地審査) 0円 3) 認定板費 23,000円(1本に付) 合 計 23,000円(1本に付)
5. 提 出 先 〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3F (一社)日本植木協会 名木認定委員会
6. そ の 他 1) 二次審査は複数委員による現物評価を実施します。 2) 申請本数の制限はありません。(申請書はコピーで増紙して下さい) 3) 認定されますと、通常総会における認定証の授与、認定版の送付のほか、協会ホームページに掲載、建設物価と積算資料8月号掲載等が行われます。

植生アドバイザー育成講座 受講生募集

講座は、全3コースで構成されており、1年目は第1段階の「A 植生調査コース」、2年目は第2段階の「B 植生景観調査コース」、3年目は第3段階の「C 植生復元・モニタリングコース」と、1年ごと段階を踏んで受講していただくことで、植生学の基礎、植生調査手法、データの分析と植栽計画の立案、植栽とモニタリングを体系的に修得できるカリキュラムが組まれています。本講座は、その優れた内容が評価され、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されております。
登録内容は環境省ホームページをご参照ください。 https://edu.env.go.jp/reg/
1. 日時：平成28年8月28日(日)～8月31日(水) (3泊4日)
2. 内容： 「A 植生調査コース」 植生学の基礎、日本の植生、植生調査方法、野外実習、データ整理と解析 「B 植生景観調査コース」 植生景観の基礎、植生景観調査方法、野外実習、データ整理と解析、景観区分図の作成と修復計画 「C 植生復元・モニタリングコース」 生態学的緑化方法、植生景観計画に基づいた植栽計画、植生景観に基づく緑化工法事例
3. 講師：東京農業大学 教授 中村幸人ほか
4. 受講料：59,000円(税込)(3泊4日の研修費・宿泊費・食事費用等を含みます) ※早期割引：6月30日(木)までのお申込みの方は57,000円(税込)
*上記金額には、上毛高原駅までの交通費は含んでおりません。
*講義テキスト「植生景観とその管理」をご用意いたします。
*造園 CPD に登録申請中、CPDS 認定済
5. 連絡先：(一社)日本植木協会・川俣 ☎03-3586-7361 まで

植生調査委員会セミナー Pott 教授のシンポジウムのご案内

日時 平成28年8月20日(土) 13：30受付 14：00開始
場所 東京農業大学 一号館 教室名 一階112号室
講演 ハノーバー大学地植物学研究所所長 Pott 教授
タイトル 人文景観における植生とその生態系保全 Vegetation and its ecosystem conservation in the culture landscape.
参加費 3,000円(予定) 当日受付にて
申込 申し込みは日本植木協会事務局 川俣まで 詳細は幣協会 植生調査委員会 facebook ページにて



ヒメイワダレソウ

(常時 50,000 株以上有)

アベリア、イヌツゲ、エドワードゴーチャ、シャリンバイ、シマトネリコ、オリーブ等々 お問合わせお待ちしております。

川原種苗園

福岡県久留米市田主丸町地徳 2016-1

TEL 0943-72-2530

FAX 0943-72-0737

会員動向

協会・退会

▷(尙)和田園芸(鹿児島県) 和田 道夫

代表者変更

▷曼樹園(東京都) (新) 内田耕一郎 (旧) 内田清市

訃 報

近藤幹男様 (愛知県) 善壽園(近藤治夫氏父) 平成28年4月23日没 享年92歳